



アメリカの富と、グローバル経済

令和 7 年5月7日

黒田インターナショナルコンサルティング LLC

黒田 毅

消費者物価指数を個別国家において個別製品において比較するとき、国の豊かさの比較が可能とされる。これらは為替基準とともに、貿易という現実における富の創出をグローバル化する経済において有するのである。

また、GDP における個別国家における比較は、生産において創出される富を表すものである。

これらを支配するのが金融経済である。これら巨大資本と実体経済の枠組みは、その次世代技術とシステムにおいて、新たなグローバル経済の枠組みを提案するものである。

これらは現状の世界における物価水準は、GDP と個人所得においてその相違性を与えるものである。

これらは国家の総資産を為替水準とともに判断するとき、その資産の換算は、物価水準を形成するものであり、それらを維持永続するものが金融経済である。

これらは明らかに豊かさの指標であり、それら資本力という国家の基盤がこれらの形成を与えるものである。

これら統一価値における個別国家の物価基準は、その貿易という現実において、また国内産業においてその判断の意味を理解すべきである。

また、これらがトランプ大統領における関税政策の根幹であることは正しいのである。また富の有する意味を理解すべきである。

これら富の形成が、実体経済に基盤するものでないことも正しい。それらは金融経済の生み出す富という世界の経済の現実への理解を要求されるのである。

これらはグローバリズムにおける資本の流れが、実体経済を基盤にこれら現実を与えるものであり、それらがグローバリズムの形成を与えるものである。

これらはグローバル経済への正しい考察であり、企業や国家の経済政策の作成への正しい理解基盤である。



これら国家の豊かさは、個別消費者物価とともに、グローバリゼーションにおける均一化を与える。そして自由経済システムというルールにおいて、優秀な人材がビジネスの分野においてその先端産業や産業の進歩を求めるのである。

これらが資本というエンジンにおいて喚起される現実であることは、人類がその生存本能を基盤として現実から今日において離れられないことを意味するものである。

これらは資本主義社会の現実である。それらにおいて共産主義原理が一つの肯定を得るものであることは理解される。

これらは競争という原理原則を有するものであり、西洋の合理主義の優位性が現実をなすものである。

これら今日の経済の原理原則に対して、新たなデジタル経済への移行とともに、新社会主義思想の提案を行いうるものである。

これらは競争原理から共生という概念への移行であり、それらが新たな人類の段階への転換を実現することは可能であると考ええる。

またこれらは生存と競争という人類の現実から、存在が生存を離れ、自己の目的を希求する新たな世界の枠組みへの転換を提案できると考える。